



地区広報

おやまだ

第 18 号

平成10年3月10日

市制100周年を祝う



フレイインダ「小山田」

おもな内容

- P 2・3 特集 わたしたちの
住みよい町づくり
- 4・5 写真でみる
フレイインダ小山田
- 6 歴史探訪
- 7 おやまだスポット
- 8 この人訪ねて・文芸

〔写真特集は④・⑤頁に〕

○澄みきった秋空。平成九年十月二十六日は、市制百年を祝うフレイインダ「小山田」の日。

○小山田小学校で、ミニ運動会や植樹祭、歴史館など老若男女が集い大盛況。井上市長の激励を受け、競技も肌寒さを吹き飛ばし、歓声と拍手で最高潮。

○昼は、味い飯と温かい豚汁が振る舞われて大喜び。人気者の「こにゅうどう」君も愛きようを振りまき、写真のモデルで大活躍。

○イベントの「和」と「協力」の絆をバネに、躍動する地域づくりに発展させたものです。

イベントは地域の絆
“和”と“協力”を
躍動のバネに

特集

わたしたちの住みよい町づくり

市制100周年という
一つの節目にあたり、現在そして未来へ
地域社会において育て、創造していくことや次世代に
伝えたい過去の苦勞などを地区で活躍中の皆様にお聞きしました

未来を担う子供たちに

小山田地区子供会育成者連絡協議会
会長 長田 孝 雄



地区内一周駅伝大会の表彰式

小山田の今と昔を思うとき
私の子供のころは、川や山で
自然を相手に外で遊ぶことが
多かったように思います。
しかし、今の子供たちは、
テレビゲームなど相手がいな
くても一人で遊べるゲーム等
があふれ、また塾通いで自由
な時間が少なくなっているこ
ともあり、外で遊ぶことが極
端に減っていると思います。
こんなことから、物があふれ
ている世の中で、自分から工
夫して遊ぶことができな
い子供が多くなっているように感じ
ます。

都会の方では、隣にだれが
住んでいるか分からない人が
多くなっている現在、小山田
地区では、子供が道を歩いて
いても、どこの子かすぐに分
かるように、地域の人々のつ
ながりができております。ま
た、自然も、他の地域と比べ
れば、まだまだ残されており
子供が外で遊ぶ環境には恵ま
れていると思います。
我々、育成会としましては
チームワークを必要とする球
技大会や、小山田の自然の中
でのウォークラリー等を企画
し、できる限り、外での体験
を多く取り入れております。
これからの子供たちのため
に、緑豊かな小山田地区の自
然を残し、地域の皆さんで、
温かく、厳しい目で子供たち
を見守り、未来を担う子供た
ちを育てていけたらと願って
おります。

笑顔あふれる小山田に

西陵中一年 西田 千裕



私は今まで小山田の過去や
将来というのを考えたことは
ありませんでした。けれども
小山田は、いつ、どういふ

うに変わるのだろうかと思っ
たことがあります。今年が市制
百周年にあたるから、今まで
の歴史をふりかえったり、こ
の百周年を利用して、何か異な
った、何か新しいことが、で
きたらいいなと思
います。

そう考えていく
と、小山田の伝統
的なことに、して
いきたいことがあ
ります。

その一つは、小山田記念温
泉病院で行われる祭りです。
人と人とのふれあいが感じ
られて、何かを知ることが、
できます。まだまだ、小山田
の伝統的なことは、言えな
いかもしれないけれども、こ
の祭りでは、たくさんの笑顔
や喜びが見られます。
これからは、この祭りだけ
じゃなく、この小山田で、い
ろいろな行事が、行われるよ
うになって、たくさんの人の
笑顔や喜び、それに、人と人
とのふれあいが、今まで以上
に、できるといいなと思
います。

無一物から大国に感慨

西山町 伊藤 美 敏

昭和のはじめは、世界的な
不況で、昭和五・六年の農産
物の価格は、米一俵（六十キ
ロ）六円位、繭三・七五キロ一
円五十銭位まで下がって、生
産費を割る程でした。その頃
の農家の生計費は、年百円程
度であったと思います。
旧制中学を出ても、就職で
きず、志願して軍隊へ入る者
も多かった。そのころは、皆
貧しく、中学へは百人中五・
六人位しか、通うことが、で
きなかった時代でした。

当時の四日市は、のどかな
田園風景が広がり、春は菜の
花が咲き乱れて、黄色いじゅ
うたんを敷いたようでした。
交通は、水沢からバス、八王
子から軽便
鉄道（小形蒸
気機関車）そ
して自動車
が、主な乗り
物でした。
戦時中は、
次第に物資
が不足し、未



期には、マッチも石けんもな
く、戦費のための国債の強制
割り当て等、また食糧不足の
ため、大都市では青虫まで食
べたという、うそのような話
まで残っています。
戦後は無一物から、国民の
努力により、世界の経済大国
となった日本、ふり返って感
深いものがあります。

視野広げた市政モニター

和無田町 鈴木 澄子



平成九年度の市政モニターは、私を含め、二十三地区、三十八名が、市長より委嘱を受けました。

一回目の全体会議から、市側に対して多くの意見・要望の発言される中、私は他のモニターの方々のように、堂々と意見が発言できるかどうか、とても不安を感じていました。

自分が生活する上で、問題意識を持たなかった事と、市政にあまり関心がなかったからです。唯一、関心があるのは、月に二回、四日市市から配布される「広報よっかいち」と、地区市民センターからの「おやまだ」です。

「おやまだ」は会議の際、他の地区のモニターの方との、意見交換に役立っています。「広報よっかいち」からは、いろいろな記事や市政の情報を得て、日常生活に活かしてい

ます。

分科会の教育では、学校教育における、いじめや登校拒否、非行問題が大きく取り上げられました。改めて学校・家庭・地域の連携の必要性を強く感じさせられました。

その他、産業廃棄物による環境汚染・ゴミ問題・リサイクルセンターの現状など数々の意見が交換されました。

不安ではじまったモニターの仕事でしたが、自分なりに納得のいくものとなりました。

その上、自分が住んでいる「四日市」のいろいろな問題を知り、自分の視野を広げることができて、良い社会勉強になりました。

みんなの願い！きれいな川

堂ヶ山町 伊藤 敏 信

私たちの住んでいる周辺の川や用水路の水は、以前はきれいに澄んでいて、コイ、うなぎなど、いろいろな魚が、たくさんいました。子供たちも安心して水遊びをしたり、魚を捕ったりしたものでした。

また川の水を、農業用水として利用するだけでなく、お米を研いだり、食器を洗ったり洗濯に利用する家庭もあり生活に欠かせないものでした。

ところが近年、生活の変化と共に、川が汚染されてきました。その多くは、家庭からの生活排水等が原因とされています。

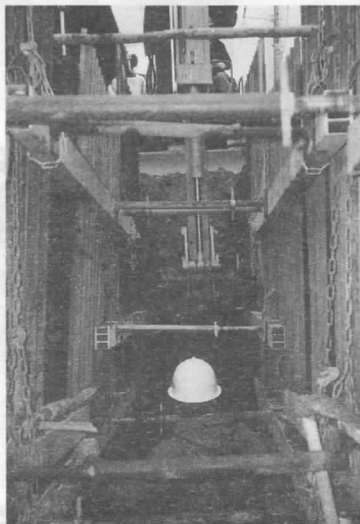
そのような状況のなかで、平成四年十月、市役所から農業集落排水事業の説明を受けました。当時、鈴鹿市の深溝町や花川町でも、事業をはじ

めると聞いていたので、こんなよいことはないと思って、町の皆様に話し、また三回程、市の説明会を受けました。

町内でも、汲み取り式便所より清潔な水洗式トイレを望む家庭が増える一方であり、同事業に対する住民の同意を得て、平成五年一月から積立金をするなど準備をしました。

平成七年度に事業が採択され、工事が着工されました。現在工事は、全体の七〇パーセントの進展であり、さらに、処理場、管路工事が平成十一年の供用開始を目標に、急ピッチで進んでいます。

このように安全で、きれいな川を守るための対策として、農業集落排水事業が進められています。



園児たちと(写真下左)

閉園・四十五年に感謝

小山田保育園 園長 中澤 幸子

私も小山田保育園は、昭和二十七年に宗教法人「暁覚寺」の境内に、前住職、中澤龍溪によって創立され今日に至りましたが、残念ながら諸事情によりまして、本年三月限りで閉園させていただきますこととなりました。

創立以来四十五年、地域の皆様には長い間ご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。深く感謝申し上げます。

戦後の混乱期の中での社会福祉事業への参加は、本当に意義深い、大きなことであつたと思います。卒園児二千人余りを送り出し、その思い出が染み込んだ、古くなりまし

長い間、本当にありがとうございました。

写真でみる

フレイジング小山田

秋空のにぎわいを撮る

H9.10.26 小山田小学校校庭



こにゆうどう君も登場!▲



入場行進▲

「おやまだを描く」
入賞者の表彰



オープニングは鼓笛隊演奏



▲町別対抗には力が入ります



グラウンドゴルフ



※餅を盛り上げたアマチュア



▲パン食い競走



▲おやまだの絵



▲交通安全協会の方々ごろうさまでした



▲「おやまだを描く」友だちの絵をさがそう



▲ドッジボール



▲タイム合わせマラソンのよーいどん

▼市長も植樹に参加



▲婦人会手づくりの昼食▼



▲競技会がはじまります



▲昔の写真をなつかしむ「歴史館」

小学校長・PTA会長・自治会長による植樹



▲テレビ取材もありました



▲車イス体験

昔の遊びにチャレンジ!
子供の遊びコーナーでは



▲友だち同士で豚汁・味ごはん・おいしかったネ



▲味ごはんをもらって



▲飛ぶかな? ペットボトルロケット



▲弁当配布に列



▲竹馬



▲お手玉遊び「むつかしいね」



▲竹細工

歴史探訪

③

道心塚

六名町 田中弘治郎

昔から言い伝えられているお話の一つです。

約七百年前に、紀州の国、高野山に、道心という修行僧がおりました。道心は、一生に一度は信州長野の善光寺に参拝したいと、篤い希望を持っておりました。ついに決心して高野山を下り、慣れない険しい山道や、橋のない大きな川など苦心をし、また人々の温かい誠心を托鉢を受けて、伊勢の国、六名町中村にたどり着きました。

名高い円満寺に参拝して、霊仏釈迦牟尼像を拜し、偉大なる仏力を受ける。顧みれば長の旅にて、体力の衰えを感じ、ここにしばらく留まり、体力の増進を図ろうと思ひ立ちました。そして、山添いの静かな地内の中で、冬暖かく夏涼しい、また霊水湧き出す所に小さな庵を立てて、修行に励みました。近くの山田、堂ヶ山、和無田、鹿間の各所へ托鉢修行に巡回して、多くの方々の喜捨を受けました。

幾年の間には、元の元氣な体になりましたので、かねての願望である信州の善光寺へと出発することになり、信篤い村人の喜捨をいただいで無事、念願達成へと旅立ちました。

残された庵の跡には、五輪塔が建てられ、追善供養がなされました。

その後、幾百年経ちました今でも、静かな日にその付近に参りますと、その昔に修行僧、道心が打ち鳴らした倫の音が、リンリンと響いてくる

と感ずるのは、わたくし一人ではないらしい。



田中さんと後方の山が道心塚跡

時代で変わる町名漢字

鹿間町

萩 伸 元

古代からの小山田は、素朴な生活や、自然との調和に育まれ、祖先から引き継ぐ町名もまた、尊い文化遺産といえます。

時代と共に町名漢字も変化

しつづ、現在の文字になったのか、を調べてみました。

- ◎ 耶麻陀—山田町
- ◎ 呂久免字—六名町
- ◎ 駄字賀也麻—堂箇山—道ヶ山—堂ヶ山町
- ◎ 志加麻—志賀摩—志賀麻—志賀真—志可満—志賀間—鹿間町
- ◎ 倭陀—和陀—倭牟陀—和牟陀—北倭陀—北和田—北和無田—和無田町

- ◎ 美里町 戦後できた新興町。堂ヶ山の一部分だった開拓団地を、美里町と名付ける。
- ◎ 西山町 両町とも小山田の小事。小山田の一字をもらって、方位からつけられた町名です。
- ◎ 内山町

【参考文献】
「鈴鹿郡郷土誌」「新選日本史図表」「勢陽五鈴遺響」「三国地志図譜」「小山田郷土史」

水琴窟

山田町

矢田 信夫



水琴窟 (山田町)

水琴窟は、江戸時代の庭師が考案したといわれ、日本庭園の添景的存在とされている「つくばい」の、石組みの一部に取り入れられています。水琴窟の装置は、水鉢(主石)の前面に凹みをつけた水門(使った水が、ここに溜まる)を設け、その底の排水口の下に設置します。底に穴をあけたかめを逆さまに土中に埋め、穴から落ちた水がかめ内で反響して、琴の音のように聞こえるのです。

- 妙心寺塔頭・退蔵院の余香苑(右京区)
- 大橋家の苔涼庭(伏見区)

水琴窟の歴史



【歴史一口メモ】 版籍奉還

1869年(明治2年)全国の各藩主が旧来領有していた土地と人民とを朝廷に返還したこと。わが国封建政治を終結し中央集権を促すための大変革で、廃藩置県の前提。



西山町チーム

おやまだ スポーツ がんばったよ! ドッジボール中央大会

子供会育成者連絡協議会
矢田 節男

長年続いたソフト、フットボール大会は、四年前からドッジボール大会に変わりました。地区内の大会は七月十三日に行い、男子は西山町、女子は鹿間町が中央大会参加と決まりました。

西山町 橋本 一弥
ドッジボール大会の日、西山集会所に七時に集まって、車で四日市ドームへ行った。開会式が終わって、一回戦が始まった。ぼくたちの目標は、一回戦突破だ。相手は、県チームだった。試合が始まって、浩土君の活躍で勝つことができました。目標を達成できたのでうれしかった。二回戦では、共同というチームにも勝つことができた。準々決勝は浜田チームと対戦。あぶなかつたけれど、浩土君などの活躍で、なんとか勝つことができました。これでベスト4になった。一回戦突破が目標だったので、少し信じられなかった。準決勝の相手は川島チームで、第一ゲームは小山田が取ったが、第二、第三ゲームは川島に取られ、負けてしまった。けれど、三位になって本当に良かったと思った。この大会は、六年生の夏の良い思い出になると思う。

心和む『生花ボランティア』 青山里会 田中 紘美

市民センターで活動中の華道クラブから、小山田特別養護老人ホームへ、山田町の三名の方が、お花を生けに来てくださっています。



鹿間町チーム

鹿間町 坂崎 理恵

八月三十一日のドッジの大会で、一つわかったことがあります。それは、チームワークのとおり方です。わたしは今まで本当にくやしいと思っただけが、一度もありませんでした。この試合で、くやしいという気持ちになりました。四日市ドームは、思ったより広かったです。造っているところを見たことはあるけど、完成したところは、見たことがありませんでした。四日市ドームがわたしにとって、初めてのドームです。すごく、うれしかったです。



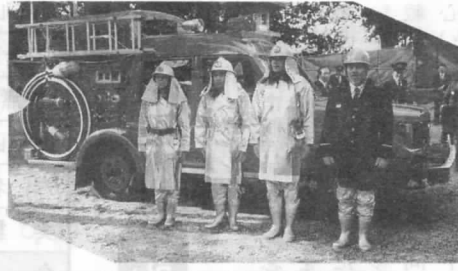
ツタンカーメンのえんどう 園芸クラブ 矢田 信夫

日ごろのお稽古の技を生かしたみごとなお花は、入所者の心を和ませることができ、職員一同とても喜んでいました。他の方々も、何かボランティアをしてみようと思われる方、いらっしやいましたらご連絡ください。(電話二八二二五二二三)



ツタンカーメンのエンドウとは、古代エジプトのツタンカーメン王墓から七十余年前に発見され、英国で発芽に成功した種の子孫です。昨年、知人から三粒もらい、栽培して驚いたのは、紫色のサヤをつけたことです。むけば、中身は見慣れた緑色のエンドウ豆でした。その豆でご飯を炊くと、「食べた残りが翌朝には赤飯になる」とのことです。また、紫色のサヤをゆで、絹布を銀紫色に染めた人もあるそうです。本年はツタンカーメンの豆でご飯を炊いて赤飯になるか、紫色のサヤは本当に染料として使用できるかを、試みるために、青山里会の藍工房(山田町宇南大沢・ミルク道路沿い)で栽培しています。五月頃には、三千三百年前の姿をよみがえらせて、紫色のサヤを皆様にお目にかけることができると思います。

ピッカピカの 〈消防車〉



清め式 平成9年12月28日

小山田地区消防分団は伊藤勝 分団長他二十一名の方が地区防災のため活躍中です。昨年十二月、二十二年間使用した消防車が、新鋭車に代わりました。旧消防車は無事故で引退し、より性能のよくなった新車で、万一の地区内の火災や、隣接地区の応援活動に、力強い威力となることと思われまます。一般家庭においても、各自が生命財産を守るため、日ごろから火災や災害を予防する気持ちをお忘れないう、心がけていきたいものです。

この人訪ねて

⑬

アートフラワーに魅せられて

鹿間町 坂崎 陽子さん

娘に感化されて、勤めの合間に始めたアートフラワー作りですが、始めたころは、こんなに第二の人生の生きがいには繋がるものとは、思っていませんでした。たぶん、性に合っていたのでしょう。いつの間にか、仕事や家事に追われながら、やり繰りして生み出した大切な時間を花づくり（アートフラワー）に熱中してしまいました。

幼いころから野の花も大好きでしたが、それをじっくり観察して真っ白な布に型を取り、色を染め、さらに線を描いてゆく。花づくりは、日常の雑念が



ら解放された、何にも代えがたい楽しいひとときです。真心を込めれば込めただけで、上がった作品は応えてくれないので、その喜びは格別です。そうして作ったブーケを花嫁さんにプレゼントして感激していただくと、もう最高です。一輪のアートフラワーを部屋の隅に飾ることも、また心とむものです。さらにこの年間には市の文化祭にはボタンの花を、地区文化祭にはコチヨウランを、ずっと続けて出品させていただいています。二度とない人生、日々雑事に追われながらも、今は花づくりのひとときに生きがいを感じております。また花づくりを通じたいろんな人との出会いも、わたしには欠かせない大切なこと。多くの方たちに感謝しながら、どんな小さな花でもいいから、自分の花を咲かせたいと、がんばっています。

文芸

川柳

- ところによる雨にうたれて 逢いに来る
- かならずしも正論じゃない マジヨリテイ
- 山田町 清水 延和
- どなたかなカンカン帽に サン格拉斯
- 植付けのチャンス逃がす 秋野菜
- お地藏さん麦わら帽で 涼しそう
- あせらずに会えるチャンス を待つ二人
- 鹿間町 酒井 三春
- さくら茶が開き茶の間が 盛り上がり
- ジョーク来て一家だんらん 初笑い
- うぐいすの初音に急ぐ 春の風
- 山田町 矢田まさ子



ふくじゅそう

俳句

- 忌のしらせ年賀状が むだになり
- 三日月をながめてコーヒー 吾ひとり
- 六地藏供えた菊は白と赤
- 六名町 田中弘治郎
- 夏菊も肩を落して雨を待つ 徐行して日傘の女に
- クラクション
- 夜更え胸も豊かに女学生
- 蛍光に闇の迷路の なかりけり
- 鹿間町 酒井 三春

短歌

- 怨讐を越えて墓石のならば立つ高野の山に灯のまたたく
- 職退きて鏡にうつる白髪に持論曲げ来し日々の浮べり
- 山田町 清水 延和
- 朝顔の花咲きつづくきのう今日華は色づくて秋を告げいる
- 通りすぎし小暗きなかの甘き香よ師の好まれしくちなしの花
- 友の来て昔話に花が咲き時の過ぐるも忘れていたり
- コスモスの咲き乱れたる散歩道を風船もちて子は帰ってくる
- 鹿間町 酒井 三春

地区の人口

(平成10年1月1日現在)

町名	世帯数	人口		合計
		男	女	
山田町 (内老人ホーム)	962 (465)	879 (114)	1,199 (362)	2,078 (476)
鹿間町	279	437	474	911
西山町	201	348	379	727
小山町	151	296	295	591
堂ヶ山町	118	233	248	481
和无田町	103	189	196	385
内山町	57	94	113	207
六名町	47	90	86	176
美里町	34	94	94	188
合計	1,952	2,660	3,084	5,744

編集後記

今号は市制百周年を記念して、地区イベントの写真を掲載しました。参加していただいた方の写真を一枚でも多く載せたいと、広報部員一同苦心いたしました。イベントに参加できなかった方にも、様子をお伝えできたら幸いです。今後も、皆様に親しまれる広報紙づくりに励んでいきたいと思っております。お忙しい中、ご寄稿いただいた皆様ありがとうございました。文化広報部長 萩 伸元